

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画、モニタリングなどを職員全体が共有できていない。	介護計画の把握。	<ul style="list-style-type: none"> 介護計画や担当者会議議事録などは、会議に出席していない職員の閲覧を徹底し、介護計画の周知を図る。 毎日の経過記録は介護計画に基づいた記録となるようにする。 	3ヶ月
2	6	ご家族の同意を得てはいるが、身体拘束を行っている。	身体拘束への理解を深め、減らす努力をする。	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束・虐待の外部・内部研修に参加し、理解を深める。 引き続き、定期的にご利用者の状態、身体拘束の現状を把握し解除に向けてどう取り組むべきか検討する。 	6ヶ月
3	35	台風や地震などを想定した対策や備蓄が準備できていない。	備蓄を準備する。 台風や地震などの災害時の対策を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 3日分程度の水・食料又ガスコンロなどを購入し、南キッチンの床下の保存庫に備蓄を保管する。 台風や地震などを想定し、どのような対応をすべきかのシミュレーションを行う。 	3ヶ月
4	49	外出支援をより増やす支援を行う。	個別支援を行い、入居者の楽しみや外出機会を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> 個別の希望を把握し、意向に添う支援をしていく。 少人数ずつの外出支援。 ご家族の協力を得、ご家族と一緒に外出やレクリエーションの実施。 	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。